

平成30年8月2日

平成30年度農林水産省の熱中症に対する取組

農林水産省では、農作業中の熱中症事故防止に向けて、5月の春の農繁期や7月の「熱中症予防強化月間」、随時気象状況に応じて、農業者へ熱中症の予防のための留意点等を周知するため、下記の取組を行う。

また、ホームページや農林水産省メールマガジン等の様々なツールを活用して、幅広く周知を行う。

■ 各都道府県等への通知の発出（別添1）

5月の春の農繁期前や7月の強化月間前、随時気象状況に応じて、熱中症の予防のための留意点について、各都道府県等に対し農業者への周知を図るよう通知を発出する。夏季作業で特に注意が必要な事項について、全国で行われる農業者が集まる集会及び行事等での周知等を実施するよう各都道府県に依頼する。また、関係団体や企業等に対しても同様の依頼を行う。

■ 民間企業と連携した啓発（別添2）

熱中症予防声かけプロジェクト、(株)大塚製薬と連携してポスターおよびリーフレットを作成・配布し、行政機関や農業機械メーカー等による啓発資材を活用した「声かけ」（注意喚起）を促す。また、誰でも容易に活用できるよう、ポスターおよびチェックシートを農林水産省のホームページにも掲載する。

■ 熱中症研修の開催（別添3）

農林水産研修所において、都道府県担当者等を対象とした「熱中症及び環境対策コース」を開催し、熱中症発症のメカニズムや予防対策のポイント等に関する理解を深める研修を6月8日に実施。

気温の上がる5月頃から、熱中症による事故の発生が多くなるが、今年は7月中旬から特に高温の状態が続いたことから、随時、通知やメルマガ等で関係団体に情報発信。

熱中症予防声かけプロジェクトとの
共同制作チェックシート、ポスター

(株)大塚製菓の熱中症予防冊子
(4万冊を農業者等に配布)

熱中症予防声かけ出陣式
(H30.6.29 渋谷ハチ公前)



▶▶ 文書による注意喚起

発出日	文書名	施行先
4月25日	農作業中の熱中症対策について (生産局技術普及課長)	都道府県（地方農政局等 経由）、関係団体
6月13日	農作業中の熱中症に対する注意喚起について (生産局技術普及課生産資材対策室長)	〃
7月18日	高温・少雨に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の 徹底について（生産局農業環境対策課長）	都府県（地方農政局経 由）
7月26日	台風第12号の接近及び通過による暴風及び大雨に伴う農 作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について（生 産局農業環境対策課長等）	都道府県（地方農政局等 経由）
7月30日	農作業中の熱中症に対する注意喚起について (生産局技術普及課生産資材対策室長)	都道府県（地方農政局等 経由）、関係団体

▶▶ メルマガ等による注意喚起

発出日	名称	対象者
5月1日	e普及だより	都道府県の普及指導員
5月9日	農業女子メール	農業者
6月11日	農村ふるさと保全通信	農業者、関係団体
6月26日	農業経営者net	農業者
6月29日	農業担い手メールマガジン	〃
7月17日	農業担い手メールマガジン	〃
7月18日	e普及だより	都道府県の普及指導員
7月20日	農業経営者net	農業者

農業経営者net(Facebook)
での周知





農作業時の熱中症予防対策チェックシート

作業前はこのことに心がけましょう

- ☒ **体調は万全ですか？**
二日酔い・寝不足・風邪気味の時は危険度が増します。
- ☒ **朝食は食べましたか？**
朝食で取るべき栄養分と水分をとりましょう。
- ☒ **暑さ指数(WBGT)を確認しましたか？**
ホームページ(<http://www.hitosuzumi.jp/wbgt>)や暑さ指数計で確認しましょう。
- ☒ **熱中症予防グッズを活用していますか？**
屋外では帽子、吸汗・速乾性の高い服を着用し、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう。
- ☒ **飲み物は持ちましたか？**
特に65歳以上の方はのどの渇きを感じにくいです。
- ☒ **緊急連絡先を知っていますか？**
万が一の時のために、携帯電話をもっていきましょう。
- ☒ **作業計画に無理はありませんか？**
気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう。
もし暑い時間帯に作業する時は、作業時間を短くするなど計画しましょう。

こちらから
チェック→



作業中はこのことに心がけましょう

- ☒ **暑さ指数(WBGT)を確認しましたか？** 作業前だけでなく作業中も確認しましょう。
- ☒ **高温多湿の環境を改善しましたか？**
特に施設内(ハウスや畜舎など)での作業は、断熱材の活用や風通しをよくするなどの対策をしましょう。
- ☒ **2人以上での作業ですか？**
作業は2人以上で行い、
時間をきめて水分・塩分補給の声をかけるなど定期的に異常がないか確認しましょう。
- ☒ **休憩の時間をとっていますか？**
休憩時は作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう。
木陰などの涼しい休憩場所を必ず確保しておきましょう。
- ☒ **水分・塩分補給の時間をとっていますか？**
のどが渇いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1～2杯以上をめやすに水分・塩分補給しましょう。

どんなもので補給すればいいの？

1ℓの水に対して1～2gの塩分が含まれる飲料や、塩分タブレットで、水分・塩分を補給しましょう。
※必ず成分表示を確認のうえ、適切な量を摂取してください。

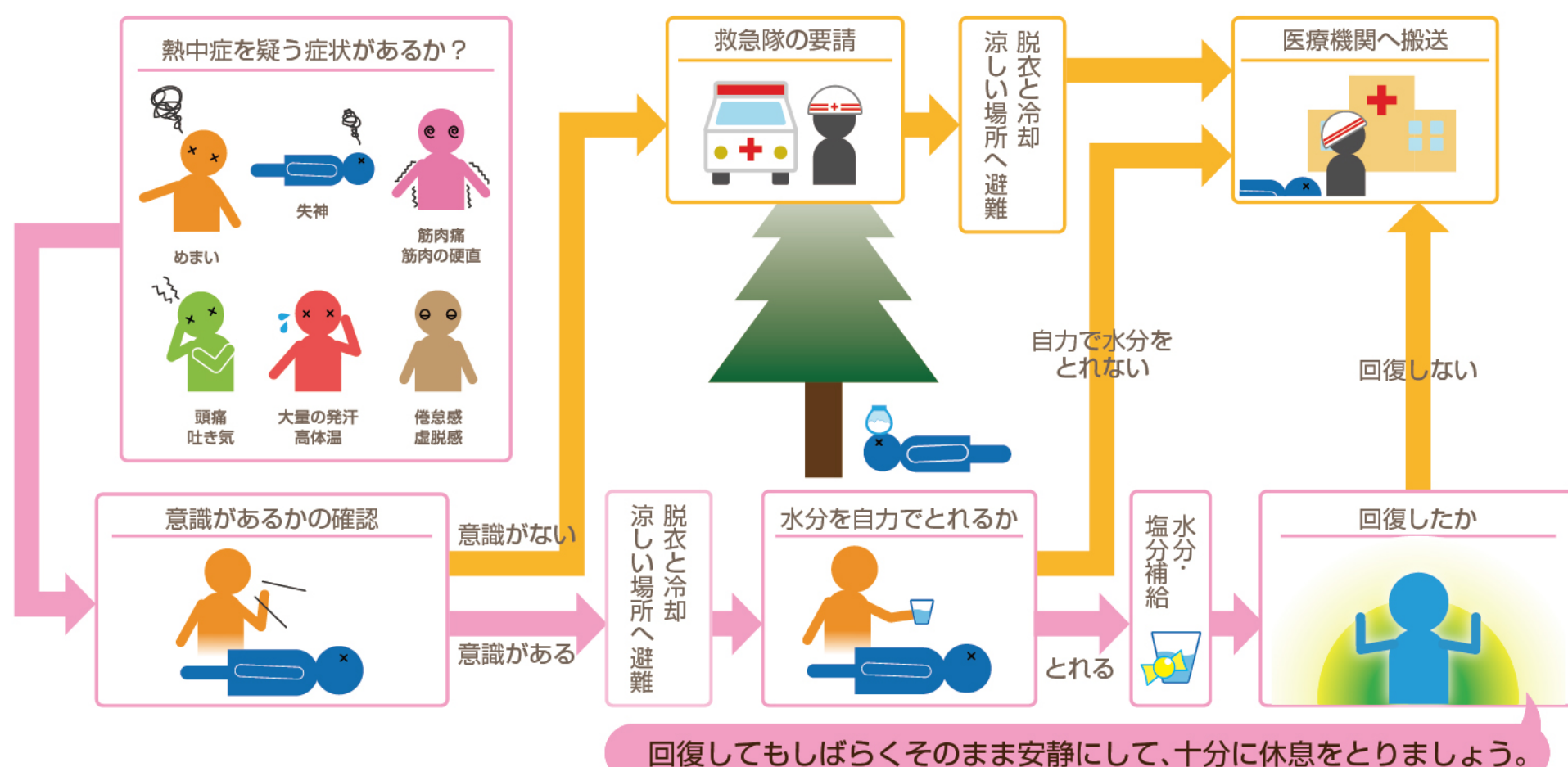


農作業時の熱中症予防対策チェックシート

このような症状はでていませんか？
(1つでも該当すれば熱中症を疑いましょう)

- | | |
|---|---|
| ☐ めまいや立ちくらみがしませんか？ | ☐ 筋肉のけいれん(足がつる等)はありませんか？ |
| ☐ 体がだるくないですか？(脱力感・倦怠感) | ☐ 気持ち悪くなっていませんか？ |
| ☐ 頭痛がしていませんか？ | ☐ 意味不明な返答などをしていませんか？ |
| ☐ 体にさわると熱くなっていませんか？ | |

もしも熱中症になっている方をみかけたら…
～応急処置のフロー～



平成30年度 農作業安全組織計画・運営研修

熱中症及び作業環境対策コース

平成30年6月8日(金)

(定員：30名)

(研修のねらい)

本研修は、農作業中の死亡事故の原因として増えつつある熱中症の予防対策の重要性に対する理解を深めることにより、農作業安全対策の知識向上に資することを目標とする。

(受付場所：水戸ほ場玄関)

月 日	区分	研 修 項 目 等	主 な 内 容	場 所
6 / 8 (金)	午前	11:00～ 開講式・オリエンテーション 11:10～12:10 基礎的な熱中症の発生メカニズム (講師：桐蔭横浜大学大学院 スポーツ科学 学研究科長 教授 医学博士 星秋夫)	熱中症発症のメカニズム、予防 法、発症後の対応について解説	水戸ほ場 第1教室 〃
	午後	13:00～14:00 農業現場における熱中症予防 (講師：東京農業大学 国際食料情報学部 教授 大学院農学研究科 環境共生学 専攻教授 医学博士 樫村修生)	農業現場における高齢者・ビニ ールハウスに多い熱中症の特徴等 について解説	〃
		14:00～15:00 今年の夏の天候見通し (講師：NPO法人 気象キャスターネット ワーク 気象予報士 平井史生)	気象庁の中・長期予報による今 年の夏の天候について解説	〃
		15:00～16:00 健康で安全な生活のために (講師：大塚製薬(株) 大宮支店 課長 竹下浩一)	健康で過ごすための、睡眠・栄 養・水分補給について	〃
		16:10～ 閉講式		〃

(注) JR 友部駅(10:45出発予定)より水戸ほ場まで無料送迎バスを運行します(3名以上)。